

基本情報



【年齢】
58歳
【出身地】
東京都杉並区
【転出元】
東京都杉並区
【前職】
バス運転士
【活動時期】
R3.8～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

20年ほど前に趣味の登山をしている際にパークレンジャーの方から、シカによる針葉樹林の食害の話を知ったことで被害の大きさと深刻さを知りました。その一方、山中では駆除目的で殺処分されたシカが適当に処理されている姿を目にすることもありやりきれない思いにもなりました。

そうした体験を通して、鳥獣被害で困っている方々の手助けをしつつ、処分された鳥獣の有効利用に携わりたいと考えるようになったことがきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

まず、狩猟の知識や技術を学んでいきたいと考えております。現在は地元の猟友会の方々と行動することが多く、知識や技術のみならず経験や地域の特性も学んでおります。今冬からは猟銃を使用した捕獲にも挑戦していき、現場での経験を積んでいきたいと思っております。

また、捕獲のみならず農作物等の被害が減少するような防護法の調査や、地域の方々との協力体制の構築を継続して行っていききたいと思っております。

活動内容

●鳥獣被害の現状確認

玉山地域での鳥獣被害を把握するために実地調査を行いました。昼間には被害のあった農地へ赴き被害作物や足跡の確認をし、夜間には監視カメラによる生息鳥獣の確認をしました。鳥獣毎に有用な餌や餌が違うため今後の活動のための基礎となる活動でした。



被害のあったデントコーン畑

●罠の設置及び見回り

猟友会の方々と協力し、罠の設置、見回り及び捕殺対応を行いました。罠の設置方法や場所を指導してもらっただけでなく、撒き餌を使用することで効果的に捕獲できるよう自分なりの工夫もしました。令和4年度には玉山地域で初めてのイノシシ捕獲にも協力することができました。



設置されたクマ罠

●地域の方々への広報活動

地域全体で鳥獣被害を防止する“地域ぐるみの被害防除体制”を確立することができれば、今よりも鳥獣による農作物被害が減少すると考えております。そのためにも地域住民への広報活動などを行っていただきたいと思います。本年は地域の集会で鳥獣被害や対策についてお話することができました。



地域の集会で説明する阿形隊員

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) tamayama.jyugai@gmail.com

(電話番号) 019-683-3852 (盛岡市玉山総合事務所産産振興課)